

農業で地域振興を

みどりの会 佐々木裕子



質問 ↓農業には六次産業化、就労の場の確保、自然環境保護など多面の振興効果がある。アンテナショップを出し販路拡大、農業振興する考えは。
答弁 ↓アンテナショップの展開は地場農

産物のPR、農業所得向上、販路拡大に有効であると考え。久米の里、サンヒルズでの市場調査で供給体制、販売方法の研究をしていきたい。

質問 ↓当市は自給率何%を目指すのか。農産物生産販売戦略など作る考えは。

答弁 ↓自給率は現在五十四%。国に準じてできるだけ上げたい。地産地消を進め、外への販売を目指す生産体制、販売戦略について調査・研究する。

質問 ↓耕作放棄地を未然に防ぐ対策に、行政がもう少し積極的に動いては。

答弁 ↓行政は仕組み作りや手伝いで、NPOや生産法人を支援していきたい。

間違いを正すのが宮地市長の行方

日本共産党津山市議員 末永弘之



質問 ↓「領家についての検証の中間報告で、公募のあり方・焼却灰は領家に埋めない」との覚書などについて、「基本的なあり方が間違っていた。責任の放棄である」との旨を述べな

がら、結果としては、前市長のやったことの、「後追い認定」のようになれば、もはや市長が交代した意味がなくなる。市民の目線に立って、市民が宮地市長に何を求めたかを考える必要がある。

答弁 ↓私は、間違いは間違いと言いつつ、人間になるように親に育てられてきた。しかし、圏域の議会の議決に基づいて土地購入が行われたという現実を立てて考えざるを得ない側面も理解願いたい。

再質問 ↓間違いはきっぱりと改めるのは宮地さんでないと出来ない仕事だと指摘しておく。

風力発電施設の進入路の改良は

新風会 森岡和雄



質問 ↓加茂町に計画されている風力発電施設の環境アセスなどの現状は。県道・倉見斉の谷線の改良の進捗状況は。
答弁 ↓風力発電事業は二〇〇八年度に計

画されたが、当初計画(二〇一一年完成)より遅れている。主な要因は

●環境アセスに時間を要している ●国の事業仕分けで現行の補助金が大幅に削減された ●計画地の保安林解除に時間を要していることがあり、事業者は計画を立てにくい状況。住民の理解を得て成りうる事業と認識しており、事業者に対して環境や地元へ配慮を求め、行政としても地域振興につながるよう協力していく。

倉見斉の谷線の進捗状況は、黒木ダム下流の工区は測量済みで、来年度詳細設計を実施予定である。

ごみ行政の継続こそ市民の願い

市民と歩む会 河本英敏



質問 ↓市民が市長に最初に決断して欲しいことは、一日も早いごみ処理施設の完成に向けた決断ではないか。多くの市民が、中間報告で結論が先延ばしとなり大変落胆し、不安感を抱

いている。こうした市民の不安は市政に対する不信につながる。また、結論を先延ばしたストーカ炉と焼却灰のセメント原料化方式への市長の疑問は何か。処理方式は、一長一短はあるが、ストーカ炉とセメント原料化方式こそが時代の流れ、先進地の運用状況を見れば明らかである。市長の考えは。

答弁 ↓施設の早期完成が市民の願いであることは十分認識している。しかし、責任者である私自身が納得のいかないうまく実行に移すことはできない。今後、事業を円滑に進めるためにも必要と認識している。

◎ 後援会が、花環、香典、祝儀などを出すと処罰されます。